

■蛮族PC③「ドレイクの忠臣」個別設定

きみは、ドレイクの姫君エリンターナの従者だ。

その心優しい性格に惹かれており、誠心誠意仕えていた。

そしてバルバロス（蛮族）も人族も分け隔てなく優しく接する主に、共感も覚えていた。

主と共に城塞都市バルザークへとやってきて、人族と共に魔神と戦ううちに、きみは人族にも信頼されるようになってきた。人族の子供からは、親しみを込めて「素敵な尻尾だね」と声をかけられるほどだ。

だがある日、エリンターナは、なんの前触れもなく姿を消してしまった。

なんとしても、捜し出さねばならない。

推奨技能：スカウト技能＋任意

推奨キャラクター

コボルドの斥候（⇒『BR』45頁）

or シザースコーピオンの魔動機師（⇒『BR』37頁）

.....(山折り).....

●愛ゆえに

ドレイクの姫君エリンターナは、きみのどこを気に入ったのか、いつもずっと側に置いていてくれた。

その結果、きみはエリンターナの匂いや痕跡を追うことさえできるようになった。それは技術や能力というより、本能に近いものなのかもしれない。いまは、町の北側にその痕跡を感じている。

そして数少ない心許す相手だったのか、きみは彼女から大事な秘密も聞いていた。

なんとエリンターナは、かつて“奈落の魔域”の中で、自分の魔剣をなくした「魔剣を持たないドレイク」なのだという。そして生来持っている魔域を渡り歩く不思議な能力によって、失った自らの魔剣を捜して、彷徨っているのだと。

魔剣を取り戻したとき、自分はドレイクとしての本性に目覚め、真の力に覚醒するかもしれない——それゆえに、魔剣を取り戻すことに恐れを感じているとも言っていた。

エリンターナは本当に、魔剣を取り戻すために魔域を渡り歩いているのだろうか。あるいは、自らそれを破壊するためなのかもしれない。

目的：エリンターナを見つけ、守る。